

平成 25 年度における FASF の 主な活動概要

本誌は企業会計基準委員会（ASBJ）の活動を中心にご紹介しておりますが、ASBJ が行う活動のほか、公益財団法人財務会計基準機構（FASF）としてもディスクロージャーに関する調査・研究や国際対応等、様々な活動を行っております。本コーナーでは、平成 25 年度における FASF としての主な活動についてご紹介します。

1. 調査・研究、セミナー

FASF では、産業界、監査法人、FASF 開示室職員等で構成される「有価証券報告書等開示内容検討会」において、毎年、有価証券報告書等の適切な開示のあり方について検討を重ねており、平成 25 年度は「四半期報告書作成上の留意点（平成 25 年 6 月第 1 四半期提出用）」、「有価証券報告書作成上の留意点（平成 26 年 3 月期提出用）」を取り纏めました。

また、同作成要領を基に、全国の主要都市においてセミナーを開催しております。これに加え、各企業の財務・経理部門に新たに配属された担当者向けのセミナーとして「開示実務新任者向けセミナー」や ASBJ の開発する企業会計基準や国際的な会計基準の動向をいち早くご案内する「ASBJ オープン・セミナー」を開催しております。平成 25 年度は以下のとおりセミナーを計 5 回（全国の主要都市で延べ 30 回）開催し、多くの会員の方々にご来場いただきました。

なお、セミナーに参加いただけなかった方々等を対象に「開示実務新任者向けセミナー」、 「ASBJ オープン・セミナー」の Web 配信を実施しており、有価証券報告書、四半期報告書作成上の留意点に関するセミナーも平成 26 年度から Web 配信を開始する予定です。

【平成 25 年度に開催したセミナー】

開催時期	セミナー名称	開催場所
平成 25 年 4 月	FASF セミナー「有価証券報告書作成上の留意点（平成 25 年 3 月期提出用）」	札幌、仙台、東京、名古屋、金沢、大阪、広島、高松、福岡
平成 25 年 6 月	FASF セミナー「四半期報告書作成上の留意点（平成 25 年 6 月第 1 四半期提出用）」	札幌、仙台、東京、名古屋、金沢、大阪、広島、高松、福岡
平成 25 年 9 月～10 月	ASBJ オープン・セミナー平成 25 年 9 月、10 月	札幌、東京、名古屋、大阪、福岡
平成 25 年 9 月	開示実務新任者向け FASF セミナー	東京、大阪
平成 26 年 2 月	ASBJ オープン・セミナー特別講演 Hans Hoogervorst IASB 議長に聞く	東京

2. 刊行物、ホームページ等による広報活動

FASFでは、ASBJにおける企業会計基準等の開発状況及び国際的な会計基準を巡る動向等を広く周知することを目的として、年4回、本誌を発刊しています。本誌では、金融資本市場関係者等の方々に「Accounting SQUARE」というコーナーでご寄稿いただくとともに、「CFO Letter」というコーナーを設けて上場会社の財務担当役員の方々にも折々ご登場いただいております。会員の方々はFASFのホームページからも『季刊 会計基準』の全文をご覧いただくことが可能です。

また、ASBJ/FASFの活動状況をよりタイムリーかつ広範にお伝えするため、ホームページを通じた情報配信も積極的に行っております。平成25年度は、ホームページに掲載しているコンテンツの整理を行い、より見やすい画面作りに努めました。

この他には、企業会計基準の開発状況やセミナーの開催状況等、ホームページに掲載されているASBJ/FASFの活動内容をコンパクトな形でメール配信する「ASBJ Newsletter」や、委員会の審議状況の動画をWeb配信する「Webcast」を提供しております。

3. 国際対応

FASFでは、IFRSをより高品質なものに発展させていくことに貢献するため、IFRS財団に対して人材面、資金面で協力しております。人材面では、現在、ASBJから国際会計基準審議会(IASB)に対して研究員4名を派遣しております(常勤3名、非常勤1名)。また、米国財務会計基準審議会(FASB)に対しては1名の研究員を派遣しております(非常勤)。

また、IFRS財団とは適宜、意見交換を行っており、平成25年11月にはIFRS財団のプラダ評議員会議長が来日し、FASFのIFRS財団への貢献及び我が国市場関係者の意見について意見交換を行いました。

なお、平成24年10月にIFRS財団初の英国外拠点として開設されたアジア・オセアニアオフィスに対しても引き続き資金面、運営面でのサポートを行っております。

4. 国際的な会計人材の育成に関する活動

FASFでは、日本経済団体連合会、日本公認会計士協会、日本証券アナリスト協会等、関係団体のご協力の下、中長期的な視点に立った国際的な会計人材の育成のため、平成24年1月より「会計人材開発支援プログラム」を実施しております。平成25年度は第1期プログラムの2年目であり、1年目で行ってきたことを基に、さらなるIFRSの背景にある考え方に関する知識の深化や英語でのディスカッション力の向上等を目指し、平成25年12月の第1期プログラムの終了までに年間で計27回のプログラムを実施しました。また、平成26年5月に開始する第2期プログラムの参加者の募集を行いました。

※国際的な会計人材の育成については、本号の特集(20頁)において関係者を集めた座談会を掲載しております。

5. システム基盤の強化

平成25年度に当財団の基幹システムがハードウェアの保守期限満了を迎えたため、ハードウェアの二重化や遠隔地保管の手当て等、セキュリティ強化に重点をおきながら、システムのリプレー

スを実施しました。

6. ガバナンスに関する活動

FASFではガバナンスのより一層の強化を図るため、「委員推薦・評価委員会」「適正手続監督委員会」及び「業務推進委員会」を平成23年より設置しております。

「委員推薦・評価委員会」については、ASBJ委員及び委員長の候補者の選考並びに再任時に在任中の評価を行うことを目的に開催しております。

「適正手続監督委員会」については、ASBJが基準開発を行う過程で必要とされるデュー・プロセスが規定どおりに行われるかを監視・監督し、その結果を理事会に報告することを目的とし、昨年度は「企業会計基準等の開発に係る適正手続に関する規則（案）」を取り纏めております。

「業務推進委員会」については、理事長、ASBJ、FASF事務局が行う業務のうち、①国際対応に関する業務、②人材開発に関する業務、③FASFの戦略の企画・立案、④FASFの日常的な業務の各項を遂行し、理事長を補佐することを目的に開催しております。

7. 基準諮問会議の活動

「基準諮問会議」は、ASBJにおける審議テーマやその優先順位等、ASBJの審議・運営に関する事項について理事会に報告することを目的としております。平成25年度は、平成25年7月、11月並びに平成26年3月の計3回開催しております。

なお、ASBJに対しては以下の新規テーマの提言を行いました。

- 繰延税金資産の回収可能性（日本公認会計士協会監査委員会報告第66号関連）
- 「企業結合に関する会計基準」に係る条件付取得対価の取扱いについて
- リース手法を活用した先端設備等投資支援スキームに係る会計上の取扱い
- ヘッジ会計の限定的な見直し

※平成25年度における基準諮問会議の活動内容の詳細は、本誌第42号、44号並びに本号に掲載しております。

8. FASFの事務局

平成26年3月時点のFASF事務局は総計16名となっております。

